

日本外交文書

滿州事變 第一卷第三冊

外務省

序

近代日本の対外関係の展開を示す基本史料である「日本外交文書」は、外務省において昭和十一年に明治元年の第一巻を編さん以来、現在では大正十一年まで計一三五巻を出版するに至った。

さらに当史料館では、一般の要望に応えるため、大正期と並行して昭和期の外交文書を公刊すべく鋭意準備を進めてきたが、このたび「満州事変」に関する外交文書を発刊する運びとなった。満州事変は、日本外交史上のみならず、国際政治の上でも重大な転換期を画し、昭和期外交文書の嚆矢を飾るに相応しい歴史的意義をもつものと認められる。

激動の時代と称せられる昭和期日本の対外政策とこれをめぐる国際環境について、本書が正確な史実を提供し、内外の外交問題研究者の研究に資するとともに、今後のわが国外交政策の樹立にあたって何らかの寄与をなし得れば幸いである。

昭和五十二年三月

外務省外交史料館長

例 言

一、本書に収録された文書は、原則として外務省所蔵記録で、編さんにあたって原文の改変、削除、簡略化等を行われていない。ただ、明らかな誤字などは訂正し、漢字はなるべく当用漢字を使用した。

二、満州事変関係の外務省記録は焼失したものが多く、本省への来電、来信については相当程度「写」により復原し得たが、本省よりの往電、往信は復原がきわめて困難であった。重要な往電、往信で採録されていないものが多いのはこの理由による。

三、(イ)文書はそれぞれの事項のもとに暦日順に配列し、事項かぎりの文書番号を付した。

(ロ)発電日付不明のものは、着電の日付で採録し、表題においては、8月⁽²⁾日とカッコを付して區別した。

(ハ)表題の発電者あるいは受電者の上に※を付してあるのは、該発電者あるいは受電者が名義上のものであることを表示する。

※在奉天林総領事より
幣原外務大臣宛

(ニ)本文中右肩にある(1)(2)(3)等の記号は、同一番号の電報が何回かに分割の上発電されたことを示すものである。

………帰還後当地ノ状況ヲ見ルニ………⁽²⁾

(ホ)表題の発・受信者は初出の場合にかぎり姓名を表示し、次回よりは姓のみにとどめた。

在ハルビン大橋(忠一)総領事より
幣原(喜重郎)外務大臣宛

四、各巻ごとに全採録文書の日付順索引を付した。満州事変 第一巻(昭和六年九月より昭和七年一月まで)は三冊よりなるので、日付順索引は第三冊(本冊)に付記されている。

満州事変 第一巻第三冊

目 次

八 米国および各国との交渉ならびに
国際連盟における審議状況……………一

1 米国との交渉……………一

2 国際連盟理事会における審議状況ならびに各国との交渉……………一五二

付録 満州事変 第一巻 日付索引

一 満州事変の勃発

二 満州事変勃発後の中国東北地方（満州）各地および北平の状況

- 1 東北地方の戦況ならびに居留民の動静
- 2 東北地方各地の政情
- 3 北平における反応

三 東北地方北部の形勢と日本軍のチチハル占領

（以上第一冊、既刊）

四 天津事件

- 1 天津事件と旧宣統帝溥儀の天津脱出
- 2 第二次天津事件

五 錦州周辺の情勢と日本軍の錦州占領

六 国民政府との交渉

七 中国およびその他各地における排日状況

（以上第二冊、既刊）

事項八 米国および各国との交渉ならびに国際連盟における審議状況

1 米国との交渉

1 昭和6年9月(20)日 在北平矢野参事官より
幣原外務大臣宛（電報）

満州の軍事占領は日本にとって不利益との米

公使の談話について

第四一三号（暗）

十七日夜「ジョンソン」公使ト雑談ノ際同公使ヨリ中村事件ノ経過ニ付尋ネラレタルヲ以テ本官ヨリ然ル可ク説明シタル処同公使ハ頗ル真面目ナル態度ヲ以テ実ハ約一週間前或ル方面ヨリ日本ハ中国ノ現在ノ政局及水災ノ時期ニ乗シ満蒙奪取ヲ計画シ三ヶ月間ニ之ヲ完了スル予定ニシテ中村事件ノ如キハ唯其機会ヲ誘発スル為ノ計画ニ過キスト聞込タルコトアリ旁自分ニ於テハ中村事件ノ成行ヲ注視中ナル次第ナリト語リタルニ付本官ハ日本政府ニ於テハ中村事件

ハ唯中村事件トシテ其「メリット」ニ從ヒ地方的ニ解決ヲ計リ居ル次第ニシテ之ヲ機会ニ満蒙奪取ノ計画アリ等ト為スカ如キハ全然根拠ナキ風説ナリ今日迄ノ情報ニ依レハ中村事件ハ場合ニ依リ案外簡單ニ片付クコトナルヤニモ考ヘラルト答ヘタル処同公使ハ自分モ本件ノ地方的解決ヲ切望シ居ル次第ナリ日本カ此際満州ヲ占領スルコトハ頗ル容易ナルヤモ知レサルヘケレト自分一個人ノ考トシテハ何故日本カ満州ヲ略取セサルヘカラサルカ甚タ諒解致シ難キ処ニシテ寧ロ日本トシテハ満州ノ政治行政ノ如キ煩雜ニシテ多額ノ経費ヲ要スル事業ハ現在通り之ヲ全部中国側ニ委セ日本人ハ只経済上及商業上ノ發展ヲ計ルコト最モ利益ナルヘシト思考シ居レリ満州ヲ軍事的政治的ニ奪取スルコトハ却テ種々困難ナル問題ヲ惹起スル所以ナルヘシト語リタルニ付本官ヨリ右ハ自分モ全然同感ニシテ日本ノ有識者及政府共常ニ日支ノ共存共栄ヲ念トシ中国ニ対シ何等領土的乃